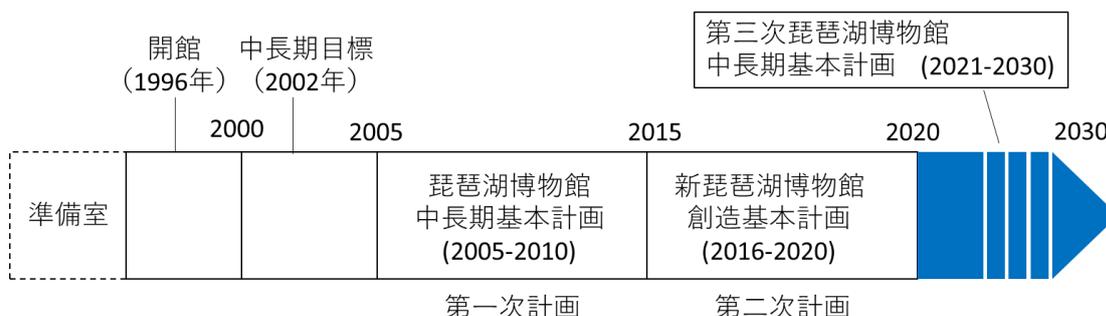


第三次中長期計画の策定について

1. 概要

琵琶湖博物館は、使命や基本理念に沿って計画的に発展するため、中長期基本計画（2005－2015）、新琵琶湖博物館創造基本計画（2016－2020）に基づいて活動を行ってきました。今回は2021年から2030年までの10年間の方向性を決めます。



2. これまでの発展の経緯：

(1) 琵琶湖博物館の使命・基本的な考え方

- ・琵琶湖博物館は「湖と人間」をテーマとする総合博物館。
琵琶湖やその周囲の生活の価値を発見し、より良い共存に向けて考える。
- ・考え、行動する主体はそれぞれの人。活動するのは現場。博物館は入り口。
- ・人々が交流する博物館になろう。

(2) 中長期基本計画「地域だれでも・どこでも博物館」

- ・それぞれの人々が、それぞれの地域で活動するのを応援できる博物館になる。

(3) 新琵琶湖博物館創造基本計画「博物館の木から地域の森へ」

- ・古くなった博物館の展示や交流空間をリニューアル。
- ・地域の活動の輪を広げ、森にしていこう。

3. 新しい計画の方向性

- ・世界の琵琶湖になろう
- ・人々の日常の活動の中でいつでも使える博物館を目指そう。
- ・人々が集まり、交流するのが日常になるようにしよう。

4. 第三次中長期計画策定のスケジュール

現在 素案を作成 博物館協議会での意見聴取 → 議会での審議
 令和3年2月頃 修正案について博物館協議会で再度意見聴取
 令和3年3月頃 議会で審議し、策定